

日本放送協会 理事会議事録

(平成29年 8月29日開催分)

平成29年 9月 22日(金)公表

<会議の名称>

理事会

<会議日時>

平成29年 8月29日(火) 午前9時00分～9時55分

<出席者>

上田会長、堂元副会長、木田専務理事、坂本専務理事、
児野専務理事・技師長、根本理事、松原理事、荒木理事、黄木理事、
大橋理事、菅理事、中田理事、今井特別主幹
高橋監査委員

<場所>

放送センター 役員会議室

<議事>

上田会長が開会を宣言し、議事に入った。

付議事項

1 審議事項

- (1) 第1289回経営委員会付議事項について
- (2) NHK3か年計画(2018-2020年度)について
- (3) 平成29年度後半期の国内放送番組の編成について
- (4) 平成29年度後半期の国際放送番組の編成について
- (5) 「日本放送協会企業型年金規約」の一部改正について
- (6) 中央放送番組審議会委員の委嘱について
- (7) 平成29年度第1四半期業務報告(データ更新版)

2 報告事項

- (1) 地方放送番組審議会委員の委嘱について
- (2) 非現用不動産の売却について
- (3) 予算の執行状況（平成29年7月末）
- (4) 契約・収納活動の状況（平成29年7月末）
- (5) 考査報告
- (6) 放送番組審議会議事録（資料）

議事経過

1 審議事項

- (1) 第1289回経営委員会付議事項について
(経営企画局)

本日開催の第1289回経営委員会に付議する事項について、審議をお願いします。

付議事項は、議決事項として「中央放送番組審議会委員の委嘱について」、審議事項として「NHK3か年計画（2018－2020年度）について」です。また、報告事項として「契約・収納活動の状況（平成29年7月末）」、「非現用不動産の売却について」、「予算の執行状況（平成29年7月末）」、「地方放送番組審議会委員の委嘱について」、および「平成29年度第1四半期業務報告（データ更新版）」です。

(会 長) ご意見等がありませんので、原案どおり決定します。

- (2) NHK3か年計画（2018－2020年度）について
(経営企画局)

NHKの次期3か年計画の策定について、「NHK経営計画（2018－2020年度）案 大切なことを、より深く、より身近に ～“公共メディア”のある暮らし～」等を取りまとめましたので、審議をお願いします。

「NHK経営計画（2018－2020年度）案」は、7月25日の経営委員会で審議された「NHK3か年計画（2018－2020年度）」

基本的な考え方をベースに、経営委員会での議論等を踏まえ、検討を進めたものです。修正点や新たに加えた部分を中心に説明します。

まず、「『NHKビジョン2015→2020』第2ステップ“公共メディア”実現へ」という前文では、「公共メディア」の実現に向け、インターネットの浸透により大きく変わる状況、その中で、NHKが果たしていく使命と役割について記しています。NHKが“届ける”6つの「公共的価値」については、それを“届ける”から“追求する”という表現に改めました。6つの柱建ては同じですが、④地域社会発展への貢献については、「コミュニティー発展への貢献」から「地域社会発展への貢献」に表記を変更しました。また、今回の経営計画は、「NHKグループ一体」で取り組むことを改めて明記しました。

続いて、新たに「前回のNHK経営計画（2015-2017年度）の総括と今後の経営課題」のページを加え、現在の経営計画の5つの重点方針ごとの総括と課題をまとめました。

まず、現経営計画の重点方針1「判断のよりどころとなる正確な報道、豊かで多彩なコンテンツを充実」についてです。経営14指標において「公平・公正」「正確・迅速な情報提供」などの指標で期待度と実現度の差が改善傾向にある一方、社会情勢としては、インターネットの浸透による「不確かな情報の拡散」などの懸念が想定以上に顕在化し、正確で多角的な情報を伝える「情報の社会的基盤」としての役割はさらに重要になっています。また、視聴者のNHKコンテンツへのリーチ拡大については、十分な成果が得られておらず、継続課題です。

重点方針2「日本を世界に、積極的に配信」についてです。国際放送の内容充実と視聴可能世帯の増加では一定の成果を上げており、2020年を見据え、NHKワールドTVは、関心に応える番組のさらなる充実と多言語化などへの対応が必要となっています。

重点方針3「新たな可能性を開く放送・サービスを創造」についてです。4K・8Kコンテンツ制作の技術開発・ノウハウ蓄積は着実に進んでいますが、2018年のスーパーハイビジョン実用放送開始に向け、周知・普及と制作体制の強化が課題となっています。また、情報デバイスの多様化など視聴環境の動向を見据え、放送だけでなく、インターネットも活用し、視聴者の期待に応える放送・サービスの提供の取り組みも進めてきました。

重点方針4「受信料の公平負担の徹底に向け、最大限努力」についてです。受信料の「衛星契約割合50%」の目標は2016年度に届き、「支払率80%」の目標も達成見込みとなっています。今後は、人口や世帯数が減少する中での財源確保、人材難・人的コスト増の中での収納体制の整備など、困難な課題に直面していくことになります。

重点方針5「創造と効率を追求する最適な組織に改革」についてです。関連団体の管理体制の強化や効率的なグループ経営を推進するための基盤整備は、着実に進めてきました。今後は、さらにNHKグループ一体となって、効率と創造を追求するため、業務の統合や廃止などを視野に改革を進めていきます。また、取材・制作力強化や新サービスへの対応のための、業務の見直しと大規模な要員シフトについても完遂しました。

「働き方改革」や女性の積極登用、人事制度改革など活力ある職場環境を目指す取り組み、コンプライアンスの徹底やサイバーセキュリティー対応など、組織運営の課題にも引き続き注力していきます。

「NHKビジョン2015→2020」と、次期3か年計画の位置づけについて、そのイメージを図表化したページを加えました。正確さや公平・公正といったNHKが追求する「公共的価値」については、これまでの3か年でも取り組んできましたが、次期3か年計画では、さらなる拡大を目指していくイメージを円の大きさと表現しています。

続いて、3か年（2018－2020年度）の重点方針と主な施策についてです。前回からの変更点としては、「マネジメント」部分について、前回は「効率的なグループ経営」と「透明性の高い組織運営」に分けていたものを集約し、NHKグループ一体となって効率的で透明性の高い組織運営を推進するよう、「効率と創造を追求」という表記でまとめました。

各重点方針についてです。「放送・サービス」の重点方針1「“公共メディア”への進化」です。より伝わりやすくするための表現の見直しに加え、具体的な事項を追加しました。重点項目①「世の中の課題や最新事情、信頼できる情報を早く、深く、わかりやすく」は、1項目めに、「広範なネットワークを生かして、日本と世界の政治・経済・社会・文化の今を伝える正確なニュース、情報を、より早く、より深く、よりわかりやすく伝える」を明記しました。また、人工知能・AIや、「モノのインターネット」といわれるIoTの本格化を見据えた情報提供のあり方を

記載しています。重点項目②「より安全・安心な暮らしへ 防災・減災、緊急報道、復興支援を充実」は、「首都直下地震や南海トラフ巨大地震などの非常事態のなかでも、放送・サービスを継続するために放送局の機能や運用・実施体制を整備」することや、国際的な緊張関係やテロリズムなど、「さまざまな社会的脅威に関するニュース・番組を迅速かつ丁寧に発信」することなどを追加しました。また、NHKが提供しているデジタルサービス「ニュース・防災アプリ」の強化についても記載しています。重点項目③「多彩なコンテンツと新しい放送体験で、スペシャルな知識と感動を」は、視聴者のみなさまのNHKへの期待を的確に把握して、その期待に応えていくことを明確にするため、子どもたちに安心して見せられる良質なコンテンツやインターネット、アプリの活用などを明記したほか、気象情報の手話CGや、東京オリンピック・パラリンピックの競技データの音声化・字幕化など、「人にやさしい放送・サービス」を具体的に記しました。重点項目④「日本のいまを世界へ、世界の動きを日本へ」は、英語による国際放送「NHKワールドTV」の発信力強化についてより具体的に記載し、訪日外国人がスマートフォン等で視聴することを視野に入れたコンテンツ制作や、多言語化を進めるなど、世界における認知・視聴の促進に取り組むことを明記しました。また、NHKグループ一体となったコンテンツの国際共同制作や、国際版等の制作・展開についても記載しました。

重点方針2「多様な地域社会への貢献」についてです。重点項目を「地域の魅力や課題を広く発信し、多様な地域社会の発展に貢献」とし、地域ごとの視聴者のニーズに応えるべく、暮らしに身近なニュースや情報、地域に関心の高いテーマの番組や地域の魅力の全国発信など、取り組みの方向性を明記するとともに、地域コミュニティの活性化に貢献するデジタルサービスの開発・提供についても記載しました。

重点方針3「未来へのチャレンジ」については2つの重点項目を設けました。重点項目①は「東京オリンピック・パラリンピック2020」での取り組み内容について具体的に記載し、バリアフリーの実現や、障害のある方も積極的に参加・貢献できる「共生社会」への理解を深めるとともに、人種・国籍・性別などの違いを超えて、多様な価値観を認めあう社会をめざした放送・サービスを充実させることを明記しました。重点項目②には「新たなサービスの創造」について、最新技術を活用し

た体験型イベントの提供や、NHKグループ全体での8Kの放送外活用について記載しています。

「マネジメント」の重点方針1「視聴者理解・公平負担」についてです。大きな変更はありません。受信料の公平負担に向け、大都市圏での支払率の向上などの重点対策に取り組んでいきます。営業目標については、今後の収支の検討を踏まえ掲載する予定です。

重点方針2についてです。今回は、「効率的なグループ経営」と「透明性の高い組織運営」として分けていたものを、「効率と創造を追求」という表記に集約しました。グループ経営については、現在さまざまな検討、取り組みが進んでいます。今後の検討も踏まえ、内容を更新していく予定です。また、「業務運営の効率性」、「働き方改革の推進」、「コンプライアンス・リスクマネジメント」、「サイバーセキュリティ対策」、「環境経営への取り組み」と「放送センターの建替」についても、前回の内容はそのままに、NHK本体と関連団体が一体となって、効率的で透明性の高い組織運営を推進していくことを意識した表記にしています。

なお、NHKの次期3か年計画の考え方については、広く視聴者から意見募集を行います。実施期間は9月1日から14日の2週間で、募集方法はインターネットと郵送で、インターネットはNHKのホームページ「NHKオンライン」に開設する専用メールフォームで受け付けます。視聴者の皆さまからのご意見は、今後、経営計画の検討の参考にさせていただきます。

本件が了承されれば、本日開催の第1289回経営委員会に諮ります。

(会長) ご意見等がありませんので、原案どおり了承し、本日の経営委員会に諮ります。

(3) 平成29年度後半期の国内放送番組の編成について

(編成局)

平成29年度後半期の国内放送の編成について、審議をお願いします。

後半期の改定は、各波とも10月2日月曜日から実施いたしますが、BS1は、野球のシーズン終了や欧米の夏時間の終了に伴う改定のため、11月6日月曜日から実施します。

各波の主なポイントを説明します。

まずは総合テレビです。

連続テレビ小説は、10月2日から「わろてんか」が始まります。明治後期の大阪で厳格な父から「人前で笑ってはいけない」と言われて育ったヒロインが、「人生には笑いが必要」と考える男性と出会い、夫婦で寄席を営むようになる物語です。

金曜日の午後10時から、ドラマ10「この声をきみに」が8回シリーズで始まります。家族に捨てられた偏屈数学教師が、とある「朗読教室」に出会い、個性的なクラスメートたちとの交流を通して、人生を前向きに変えてゆく物語です。

大河ドラマは、30年1月7日から「西郷（せご）どん」が始まります。人を愛し、故郷を愛し、国を愛し、民を愛し…“見返りを求めない愛”を与え続けた西郷隆盛の激動の生涯を描きます。

日曜日午後11時から、昨年、アメリカで大ヒットした話題作、海外連続ドラマ「THIS IS US 36歳、これから」が始まります。誕生日が同じ36歳の男女3人。性格も置かれている状況も全く異なるが、それぞれの人生の壁を乗り越え、大切なものを見つけようとする物語です。

おなじみの3つの番組の放送も再開します。水曜日午後10時25分からは、本人も知らない意外な家族の歴史をひもとく「ファミリーヒストリー」、木曜日午後10時25分からは、噺家の語りに合わせて再現役者の口が動く演出にこだわる新しいエンターテインメント番組「超入門！落語THE MOVIE」、そして土曜日午後11時から「アニメ3月のライオン」の第2シーズンが始まります。

次に、Eテレです。木曜日午前9時35分からは、「ドスルコスル」です。小・中学校の子どもたちが、地域活性化や環境問題、福祉、防災、国際理解など、現代社会のいろいろな課題に向き合う番組です。土曜日午前9時20分からは新シリーズ「アニメ ピンゲー」が始まります。1980年代にスイスで誕生し、粘土で作られた独特の風合いのキャラクターが、CGアニメーションとして登場します。

水曜日午後11時から「ねほりんぱほりん」の新シリーズが始まります。人形劇の演出で、さまざまな職業のゲストから赤裸々な話を、好奇心のおもむくままに根掘り葉掘り聞き出すスタジオトークショーです。「人生とは」「お金とは」「幸せとは」など、普遍的なテーマが見えてき

ます。金曜日午後10時からは「人間ってナンだ？超AI入門」です。最先端の現場も紹介しながら、今話題のAIの仕組みを解き明かします。

水曜日深夜1時からは、「テレビでロシア語」の後続番組となる「ロシアゴスキー」が始まります。来年、FIFAワールドカップが開催されるロシアへの関心が高まっていることから、4年半ぶりにリニューアルしました。ロシアを旅しながら実践的なロシア語を学ぶ番組です。

BS1では、野球のシーズンオフや欧米の夏時間の終了に伴い、番組編成の一部を見直します。月曜日午後9時からは、2年目のシーズンを迎え、ますます人気を集めるBリーグの注目試合をダイジェストで伝える「熱血解剖！Bリーグ」を放送します。選手のすご技・戦術などをスタジオで徹底解剖します。

また、金曜日午後11時からは、昨年度後期に放送した人気番組「ぼくらはマンガで強くなった」が再開します。トップアスリートたちがスポーツマンガからどんな影響を受けたのか、「挫折」「逆転」「必殺技」「ライバル対決」などのテーマで、浮き彫りにします。

土曜日午後11時からは、「球辞苑～プロ野球が100倍楽しくなるキーワードたち～」です。「ホームスチール」「クイックモーション」「アンダースロー」などのキーワードを通して、往年の名選手や現役選手に話を聞き、番組独自の切り口でプレーを分析する新番組です。

BSプレミアムです。

火曜日午後11時45分からは、海外ドラマ「クイーンメアリー2 愛と欲望の王宮」です。第2シリーズでは、貴族たちの陰謀、宗教戦争など、主人公の王妃メアリーにさらに大きな試練が待ち構えています。

水曜日午後8時からは、「偉人たちの健康診断」です。戦国武将や幕末維新のヒーロー、明治の文豪などについて、歴史の中から読み取れる病歴や死因、日々の食事・運動などを現代科学の目で検証し、新しい視点で歴史を楽しむ番組です。また、木曜日午後9時からの「ザ・プロファイラー～夢と野望の人生～」は、今回で第6シーズンになります。

日曜日午前7時30分からは、20年前にNHKがアニメ化し、一大ブームを巻き起こした「カードキャプターさくら」の新シリーズが始まります。中学1年生になって仲間と楽しい日々を過ごしていたさくらに、新たな運命が待ちうけます。

スーパーハイビジョン試験放送の後半期編成については、前半期と変

更はありません。

続いてラジオ第1です。木曜日・金曜日のプロ野球ナイトゲーム終了に伴い、午後6時台に「先読み！夕方ニュース」、午後7時30分からは「ローカルニュース」、「きこえタマゴ」などの番組を放送します。また、午後8時台以降は、「かれんスタイル」と「ミュージック・グラフィティ」を放送します。ラジオ第2では、土曜日午後6時45分から「ポルトガル語ステップアップ」を放送します。FM放送については、後半期の新設番組はありません。

なお、本件が決定されれば、9月12日開催の第1290回経営委員会に報告します。

(会長) ご意見等がありませんので、原案どおり決定します。

(4) 平成29年度後半期の国際放送番組の編成について
(国際放送局)

平成29年度後半期の国際放送番組の編成について、審議をお願いします。

英語による外国人向けテレビ国際放送「NHKワールドTV」では、国内・国際的主力番組を放送する枠として、「NHK WORLD PRIME」を新設します。「ETV特集」などのドキュメンタリーを中心に、選りすぐりのコンテンツを発信し、海外の視聴者のニーズに応じていきたいと考えています。各地域の好適視聴時間帯にあわせ、日本時間で土曜日の午前8時台ほか、計4枠で放送します。

ラジオ国際放送「NHKワールド・ラジオ日本」の多言語・外国人向け放送については、インドネシア語放送で、現地FM局の編成にあわせて、放送時間を変更します。日本語・在外邦人向け放送については、ラジオ第1のプロ野球終了に伴い、午後6時台から9時台の編成を変更します。

後半期の改定は国内放送番組と同様、10月2日月曜日から実施します。

本件が決定されれば、9月12日開催の第1290回経営委員会に報告します。

(会 長) ご意見等がありませんので、原案どおり決定します。

(5) 日本放送協会企業型年金規約の見直しについて

(人事局)

「日本放送協会企業型年金規約」の一部改正について審議をお願いします。

平成22年度から協会が導入した確定拠出年金制度について、関連団体に加入を呼びかけ、NHKエデュケーショナルと日本国際放送が10月1日からの加入の意思を表明したので、「日本放送協会企業型年金規約」の所要の改正を実施します。

そのほか、確定拠出年金法の改正等に基づく、規約条文の字句修正を行います。

(会 長) ご意見等がありませんので、原案どおり決定します。

(6) 中央放送番組審議会委員の委嘱について

(木田専務理事)

中央放送番組審議会委員について、審議をお願いします。

平成29年9月1日付で、大川順子氏（日本航空株式会社代表取締役専務執行役員）に新規委嘱したいと思えます。

なお、秋池玲子氏（ボストン コンサルティンググループ シニア・パートナー&マネージング・ディレクター）は、任期満了により29年8月31日付で退任されることになりました。

本件が了承されれば、本日開催の第1289回経営委員会に諮ります。

(会 長) ご意見等がありませんので、原案どおり了承し、本日の経営委員会に諮ります。

(7) 平成29年度第1四半期業務報告（データ更新版）

(経営企画局)

放送法第39条第3項に定める会長の職務の執行状況を取りまとめた「平成29年度第1四半期業務報告」（注）については29年7月25日開催の理事会で審議され、決定いただいております。このたび、そのデ

一タ更新版について報告します。

「中央放送番組審議会の意見」、総合視聴率を利用した「接触者率（個人）」、および「世帯視聴率」について、4～6月の3か月の平均値の結果をあらたに掲載しました。

本件が決定されれば、本日開催の第1289回経営委員会に報告事項として提出します。

(会長) ご意見等がありませんので、原案どおり決定し、本日の経営委員会に報告します。

注：「平成29年（2017）年度第1四半期業務報告」は、NHKのホームページ「NHKオンライン」の「経営情報」のなかに掲載しています。

2 報告事項

(1) 地方放送番組審議会委員の委嘱について

(木田専務理事)

地方放送番組審議会委員の委嘱について、報告します。

近畿地方で安井良則氏（大阪府済生会中津病院 臨床教育部部長 兼 感染管理室室長）、九州・沖縄地方で秋本順子氏（彫金アーティスト）、大鋸あゆり氏（伊万里ケーブルテレビジョン株式会社取締役放送部長）、籠田淳子氏（有限会社ゼムケンサービス代表取締役）、および富田めぐみ氏（琉球芸能大使館代表）、東北地方で佐藤美嶺氏（防災士）と鷹山ひばり氏（七戸町立鷹山宇一記念美術館館長）、北海道地方で嘉指博行氏（北海道新聞社論説委員）に、平成29年9月1日付で新規委嘱します。

また、関東甲信越地方の野老真理子氏（大里綜合管理株式会社代表取締役）と、四国地方の松島裕彦氏（四国旅客鉄道株式会社常勤監査役）に、平成29年9月1日付で再委嘱します。

なお、中国地方の村武まゆみ氏（浜田市立国府公民館主事）は、ご本人の申し出により任期途中の29年7月21日付で、近畿地方の小島多恵子氏（公益財団法人サントリー文化財団上席研究員）、九州・沖縄地方の井上龍子氏（八幡駅前開発株式会社代表取締役社長）、平田大一氏（沖縄文化芸術振興アドバイザー）、および深川一太氏（深川製磁株式会社代

表取締役社長)、東北地方の伊藤一弘氏(NPO法人かなぎ元気倶楽部専務理事)と畑中みゆき氏(NPO法人High-Five理事長)は、任期満了の29年8月31日付で、退任されます。

本件は、本日開催の第1289回経営委員会に報告します。

(2) 非現用不動産の売却について

(経理局)

非現用不動産の売却について、報告します。売却物件は、廃寮となった東京都内の2物件で、いずれも一般競争入札を行った結果、不動産鑑定機関の評価額を上回る金額での落札となりました。

1件目は、東京都世田谷区の「松原寮」の建物付き土地288.90㎡についてです。売却額は1億3,510万429円で、売却先はダイユウホールディングス株式会社に決定しました。平成29年8月1日付で売買契約を締結し、9月4日に売却代金の入金および引き渡しを行う予定です。

2件目は、東京都世田谷区にある「東玉川寮」の建物付き土地293.67㎡です。売却額は1億5,610万円で、売却先は株式会社S-FITパートナーズに決定しました。29年8月1日付で売買契約を締結し、9月5日に売却代金の入金および引き渡しを行う予定です。

本件は、本日の第1289回経営委員会に報告します。

(3) 予算の執行状況(平成29年7月末)

(経理局)

平成29年7月末の予算の執行状況について報告します。

最初に、一般勘定の事業収支の全体概況を説明します。7月末の標準進捗率は33.3%(4か月/12か月)です。事業収入は2,400億円、進捗率が33.7%で、財務収入における配当金の受け入れ等により、全体としては標準をやや上回る進捗率となりました。事業支出は2,204億円、進捗率が31.4%で、全体として標準進捗率を下回る支出状況となっています。この結果、事業収支差金は195億円の黒字となっています。

一般勘定の事業収支を前年同月と比較すると、事業収入は受信料の増収等により、37億円増となりました。事業支出は、国内放送費等が増

加している一方で、給与や契約収納費の減等により、7億円増にとどまりました。この結果、事業収支差金は、前年同月と比べ30億円増の195億円となりました。

受信料の状況については、受信契約件数の増加により、前年同月に比べ39億円増加しました。受信契約件数については、契約総数は年間増加目標数の標準進捗率を上回りましたが、衛星契約数は標準進捗率をやや下回りました。

最後に、放送番組等有料配信業務勘定の状況です。事業収入は、標準進捗率を下回り、前年同月比では0.03億円減の7億円となりました。事業支出は効率的な業務実施により6.6億円となり、標準進捗率を下回りました。この結果、事業収支差金は0.3億円の黒字となっています。

本件は、本日開催の第1289回経営委員会に報告します。

(4) 契約・収納活動の状況（平成29年7月末）

(営業局)

平成29年7月末の契約・収納活動の状況について報告します。

まず、第2期（6月・7月）の受信料収納額は1,128.1億円で、前年度同期を18.9億円上回りました。年間累計収納額は2,228.0億円となり、前年同時期を42.0億円上回りました。

前年度分受信料回収額は8.0億円となり、前年度同期を1.1億円下回りました。年間累計は32.9億円となり、前年同時期に比べ2.0億円下回っています。前々年度以前分回収額は5.3億円となり、前年度同期を0.4億円下回りました。年間累計は10.5億円となり、前年同時期に比べ0.4億円下回っています。

次に、契約総数の増加状況です。取次数は49.0万件となり、前年度同期を1.0万件下回りました。減少数は42.8万件で、前年度同期を0.5万件上回り、差し引きの増加数は前年度同期を1.5万件下回る6.2万件となりました。年間累計増加数は、前年同時期を5.1万件下回る18.9万件となりました。なお、7月末の受信契約件数は4,048.4万件となっています。

衛星契約数増加は、取次数が30.0万件となり、前年度同期を1.5万件下回りました。減少数は、20.7万件で前年度同期を1.3万件上回り、差し引きの増加数は、前年度同期を2.8万件下回る9.3万件に

なりました。年間累計増加数は、前年同時期を7.9万件下回る19.6万件となりました。7月末の衛星契約件数は2,037.9万件となり、契約数全体に占める衛星契約の割合は、50.3%となっています。

口座・クレジット払等の増加数は、9.0万件となり、前年度同期を2.2万件下回りました。年間累計増加数は前年同時期を7.7万件下回る21.5万件となっています。7月末の口座・クレジット払等の利用率は90.3%となっています。

また、未収数削減は、前年度同期を2.1万件下回る0.6万件となりました。年間累計は前年同時期を4.1万件下回る0.1万円の削減となっています。その結果、7月末の未収現在数は98.8万件となり、未収割合は2.4%となっています。

最後に、支払数増加の実績は、前年度同期を3.6万件下回る6.8万件となりました。

本件は、本日開催の第1289回経営委員会に報告します。

(5) 考査報告

(考査室)

平成29年7月17日から8月22日までの間に放送した、ニュースと番組について考査した内容を報告します。

この期間に、国内放送番組では、ニュース16項目、番組78本の考査を実施しました。

ニュースの主な項目としては、北朝鮮がグアム島周辺に向け、日本上空を通過するミサイルを発射する計画を明らかにし、米国のトランプ大統領が軍事行動を示唆して対立が厳しくなっていること、支持率が下落する中、安倍首相は内閣を改造し、閣僚経験者を多く起用するなど、政権基盤の安定を狙った布陣となっていること、学校法人森友学園の籠池前理事長夫妻が詐欺容疑で逮捕されたこと、相模原市の障害者施設殺傷事件から1年がたったことなどがありました。

番組では、広島市が集めた55万人以上のビッグデータ「原爆被爆者動態調査」を解析し、原爆死の全貌に迫った、NHKスペシャル「原爆死 ヒロシマ72年目の真実」(8月6日放送)、旧ソ連の軍事裁判の音声記録と内外の資料から、731部隊の実像と実態に迫った、NHKスペシャル「731部隊の真実～エリート医学者と人体実験～」(8月13日

放送)、太平洋戦争下の日本軍が山岳地帯470キロを行軍し、インド北東部のイギリス軍拠点を攻略する計画を執行したインパール作戦の実相に迫った、NHKスペシャル「戦慄の記録 インパール」(8月15日放送)などの番組を考査しました。

また、国際放送では、外国人向けテレビ国際放送「NHKワールドTV」のニュース3項目と番組2本の考査を実施しました。考査したのは、2020年の東京オリンピック・パラリンピック大会の特徴や準備の状況、課題などを特集した「NEWSLINE～Countdown to Tokyo 2020～」(日本時間7月24・25日放送)、400年以上にわたり、食文化を支えてきた、京の台所・錦市場の魅力に迫ったCore Kyoto～Nishiki Market Kyoto's Thriving Kitchen～」(日本時間7月20日放送)などです。

考査の結果、これらの一連のニュース・番組は、放送法、国内番組基準、国際番組基準等に照らし、妥当であったと判断します。

(6) 放送番組審議会議事録(資料)

編成局と国際放送局から、中央放送番組審議会、国際放送番組審議会、全国の地方放送番組審議会(関東甲信越、近畿、中部、中国、九州沖縄、東北、北海道、四国)の平成29年6月開催分の議事録についての報告。

注:放送番組審議会の内容は、NHKのホームページ「NHKオンライン」の「経営情報」のなかに掲載しています。

以上で付議事項を終了した。

上記のとおり確認した。

平成29年 9月19日

会 長 上 田 良 一